

## 川崎医科大学附属病院高度救命救急センターで受診し感染症が疑われた患者さんへ

### 研究課題名：集中治療室における敗血症診断

#### 1. 研究の対象

川崎医科大学附属病院高度救命救急センターICU入院中の感染症疑いの患者さんのうち、以下の全てに合致した方。

- ①年齢が16歳以上の方
- ②救急科担当医が感染症を疑い、感染症治療薬投与もしくは指示、微生物学的検索もしくは指示、感染源検索の画像検査もしくは指示を行った方
- ③本研究の参加について拒否しない方

#### 2. 研究目的・方法

この研究は川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得ています。

集中治療室における敗血症の診断および治療法の向上に役立てることを目的としています。研究期間は倫理委員会承認日～平成32年3月31日までです。

治療介入を伴わない既存資料のみを用いた後方視的研究であるため、患者さんに新たなリスクや経済的負担、また、謝礼はありません。

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

利用するカルテ情報には、以下のものが含まれます。

診断名、既往歴、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、感染情報、敗血症関連スコア）

個人情報是对応表を作成し、匿名化を行なった後に解析いたします。

研究結果は、可能な限り長期間保管し、少なくとも研究の終了について報告された日から5年を経過した日まで適切に保管した後、廃棄いたします。また、研究結果は研究対象者を特定できないようにした上で、学会や学術雑誌等で公表いたします。

#### 4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの個人情報管理者が保管・管理します。

#### 5. 研究組織

1. 北海道大学病院先進急性期医療センター 丸藤 哲
2. 順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科 阿部 智一
3. 帝京大学医学部救急医学 池田 弘人
4. 地域医療機能推進機構中京病院統括診療部救命救急センター 上山 昌史
5. 北九州市立八幡病院 外科/消化器・肝臓病センター 岡本 好司
6. 大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 小倉 裕司
7. 東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野 久志本 成樹
8. 兵庫医科大学救急・災害医学 小谷 穰治

9. 防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門、同大病院救急部 齋藤 大蔵
10. 佐賀大学医学部救急医学 阪本 雄一郎
11. 川崎医科大学救急医学 椎野 泰和（当施設）
12. 東京医科歯科大学医歯学総合研究科救急災害医学分野 大友 康裕
13. 会津中央病院救命救急センター 白石 振一郎
14. 川崎市立川崎病院救命救急センター 田熊 清継
15. 順天堂大学救急・災害医学 射場敏明
16. 杏林大学医学部救急医学 樽井 武彦
17. 山口大学医学部附属病院先進救急医療センター 鶴田 良介
18. 千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学 中田 孝明
19. 香川大医学部附属病院救命救急センター 一二三 亨
20. 慶應義塾大学医学部救急医学 佐々木 淳一
21. 慶應義塾大学医学部総合診療教育センター 藤島 清太郎
22. 大阪急性期・総合医療センター高度救命救急センター 藤見 聡
23. 日本医科大学高度救命救急センター 増野 智彦
24. 産業医科大学救急医学講座 真弓 俊彦
25. 愛知医科大学附属病院高度救命救急センター 武山 直志
26. 久留米大学高度救命救急センター 山下 典雄
27. 亀田総合病院救命救急科 白石 淳
28. 国立国際医療研究センター病院 救急科 萩原 章嘉

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岡山県倉敷市松島 577 電話 086-462-1111

川崎医科大学 救急医学 椎野泰和（研究責任者）

研究代表者：

北海道大学病院 先進急性期医療センター 部長 丸藤 哲 電話 011-706-7377

## 7. 利益相反

研究に必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断にひずみが生じかねないことを利益相反状態といいます。この研究を行う関係者に製薬会社等からの寄附金などの受け入れはありません。また本研究は研究責任者の教員研究費及び日本救急医学会の研究費で行います。